

呉・吉浦を考える

～吉浦で働く人たちの思いを未来へつなげよう～

日 時 令和3年10月22日(金)
場 所 呉市立吉浦中学校 第2学年B組教室
学 年 第2学年B組(男子17名 女子9名 計26名)

1 単元について

① 単元観

本単元は、本質的な問い「人はなぜ働くのか」を基に構想し、地域で働く人々の仕事への思いについてインタビューを通して知り、「働く意義」について考えを深め、自己の将来にどのように生かすかという視点から、自らの課題を設定し、解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力のうち【知識・技能】【思考力・表現力】【情報収集・判断力】【協働】を育成することをねらいとしている。

本校の総合的な学習の時間では、中学校卒業時に地域に貢献できる姿を目標にテーマを設定している。1年次の「吉浦を知る」では呉・吉浦の歴史について地域学習を行っており、2年次では、「吉浦を考える」を基に探究活動を行う。2年次の学習を通して、吉浦で働く人たちの思いを受け継ぎ、地域のために自分たちにできることを考えることで、3年次のテーマ「吉浦に貢献する」へとつなげていくことができると考える。

本単元では、地域で働く人たちに対し、問いをもってインタビューを行い、地元で働いている人たちの生の声を聴くことで、働く意義について、生徒一人一人が考えをもつことができるよう展開する。その中で、生徒は、身近な存在である地域の人たちとの双方向のやり取りを通して、仕事への思い、吉浦への思いを知り、自分の将来にどのように生かし実行していくかといった思いをもつことができると考える。(普段は見えにくい地域を支えている大人たちの存在に触れ、大人だけでなく、自分たちも地域を支えることができることに気づき、自分たちが企画した活動を実行しようとする思いをもつことができると期待している。)このような学びの姿は、指導者が設定した本質的な問いを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながる。

② 生徒観

本単元で育成を目指す資質・能力等に係る意識調査

	あてはまる	ややあてはまる
友達や家族の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている	69.3%	26.5%
分からないことや知りたいことがある時、誰かに尋ねたり自分で資料や情報を収集したりしている	46.9%	42.8%
情報収集したことや、自分の考えや気持ちを相手が理解しやすいように工夫しながら、分かりやすく伝えようとしている	38.7%	44.8%
将来の夢や目標をもっている	61.2%	12.2%

本学年の生徒は、授業に積極的に取り組んでいる。特にペアワークやグループワークでは、仲間の意見をしっかりと受け止めながら活発に活動することができている。しかし、事前調査の結果を見ると、「分からないことや知りたいことがある時、誰かに尋ねたり自分で資料や情報を収集したりしている」「情報収集したことや、自分の考えや気持ちを相手が理解しやすいように工夫しながら、分かりやすく伝えようとしている」の項目で肯定的回答が低くなっており、生徒が自ら情報収集を行い、集めた情報について相手意識をもって伝えることに課題があると分かった。

また、「将来の夢や目標を持っている」に肯定的回答をした生徒は73.4%であり、約2割は夢や目標がもっていない。このことから、吉浦で働く人たちへのインタビューを通して、生徒が働く意義について自分の考えをもったり、自分の将来について考えたりする機会を設けていくことが必要だと考える。

③ 指導観

指導に当たっては、生徒が自ら問いを見出すためのしかけに留意して行う。

単元を通して、本質的な問い「人はなぜ働くのか」を意識させ、「自分の将来」について、生徒が自ら問いを見出すことができるよう、しかけを入れて単元構成を工夫する。

第1次では、働くことについて考える。単元の導入では、家族など身近な人へ職業についてインタビューしたことを生徒間で共有し、自分の将来の夢を叶えるために必要なことや、仕事で得られるやりがいなどについて考えさせ、私たちが支えている地域の人々はどのような思いをもって働いているのか問いをもたせる。

第2次では、吉浦で働く人たちの思いをまとめプレゼン発表を行う。吉浦で働く人たちにインタビューした事柄を、誰にどのように伝えるか考えさせたり、どんな未来につなげるのか考えさせたりすることで、プレゼン発表の目的を生徒自ら見出させる。1回目のプレゼン発表の場面では、インタビュー先の事業所の方々から発表を評価していただき、聞き手により伝わりやすくするためにはどうしたらよいのか問いをもたせる。

また、プレゼン発表をした内容から吉浦で働く人たちの仕事へのやりがいや吉浦の町に対する思いに気付かせ、自分自身が将来どのように働いていきたいか問いをもたせる。

第3次では、吉浦で働く人たちの思いを、自分自身の将来にどのようにつながられるのか考えさせる。自分のグループはもちろん、他のグループがプレゼン発表した内容を手がかりにしなが、自分自身が将来働く上で大切にしたいことについて思考ツールを使いながら整理分析させ、自分は将来どのように働いていきたいか考えさせる。

2 単元の目標

○吉浦で働く人たちはどのような思いをもって働いているのか知り、それらを基に「働く意義」について考え、自己の将来の手がかりを見付けたり、吉浦の未来を考えたりする資質・能力を身に付けることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	思考力・表現力	情報収集・判断力	協働
①インタビューで集めた情報から、働く上で大切なことについて気付いている。 ②インタビュー活動で、目的に応じた調査活動を行っている。 ③吉浦で働く人たちが大切にしていることに気付いている。	①職場体験活動を通してどんなことが学べるのかに着目し、課題意識をもっている。 ②自分の将来と吉浦の将来について考え、吉浦の町が自分たちにとってどのような存在なのか、課題意識をもっている。 ③相手や目的に応じて、ワークシートやICT機器を活用し、分かりやすく表現している。 ④これまでの学習を振り返り、自分の言葉で表現している。	①目的に応じた調査活動を通して、情報を収集・整理している。 ②同級生からのアドバイスを基に、まとめた事柄を修正・改善している。 ③自分自身が将来働く上で大切にしたいことを、思考ツールを使うなどして整理・分析している。	①課題解決のための方法をグループで出し合うなど協力して考えようとしている。

4 単元の指導計画（全29時間）と評価

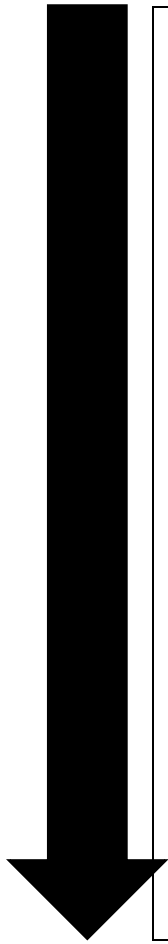
〈本質的な問い〉人はなぜ働くのだろう？～私はどのように働くのか～						
月	（次）	学習内容	探究の過程	評価規準（評価方法）	資質・能力	教科等との関連
6	一 （4）	○職場体験活動の目的について考える。	課題の設定	・職場体験をすることでどのようなことが学べるのかに着目し、課題意識をもっている。 （ワークシート、発言）	思考力・表現力①	国語科 「分かりやすく伝える」
		○身近な人に職業インタビューを行う。	情報収集	・身近な社会人がなぜ働いているのか、情報収集をしている。 （ワークシート）	情報収集・判断力①	
○インタビューした事柄から、情報を集める。	情報収集	・相手に伝わりやすいように工夫しながら話している。 （ワークシート、発言）	思考力・表現力③			
○集めた情報を整理し、分析する。	整理・分析	・仕事をする上で大切なことにはどのようなものがあるのか、整理している。 （ワークシート、発言）	知識・技能①			
7	二 （20）	○働く意義について自分の考えをもち、新たな課題を設定する。	課題の設定	・将来の自分を想像しながら、課題意識をもっている。 （ワークシート、発言）	思考力・表現力②	特別の教科 道徳科 「挨拶は言葉のスキンシップ」
		○吉浦の町が自分たちにとってどのような存在なのか考える。	課題の設定	・自分の将来と吉浦の将来について考え、吉浦の町が自分たちにとってどのような存在なのか考えている。 （ワークシート、発言）	思考力・表現力②	社会科 「身近な地域の調査」
		○インタビューに向けて質問を考える。	情報収集	・吉浦で働く人たちの仕事への思いや、吉浦への思いを聞き出すことができる質問を考えている。 （ワークシート）	知識・技能②	
		○インタビュー時のマナーを学習する。		・インタビューに向けて、マナーについて理解している。 （ワークシート）	知識・技能②	

【単元を貫く問い】吉浦で働く人たちの思いを、自分の将来にどうつなげていくのか。



【単元を貫く問い】吉浦で働く人たちの思いを、自分の将来にどうつなげていくのか。

8	<p>○事業所へアポイントメントをとる。</p> <p>○吉浦で働く人々へのインタビュー</p>		<p>・インタビューに向けて、マナーについて理解している。 (行動観察)</p> <p>・班で役割分担を行い、協力してインタビュー活動を行っている。 (行動観察)</p>	<p>知識・技能②</p> <p>知識・技能②</p>	
9	<p>○吉浦で働く人たちの思いをどのように未来へつなげることができるか考える。</p> <p>○インタビューで得た情報をまとめる。</p> <p>○事業所の方々と同級生にプレゼン発表を行い、相互評価をする。</p>	<p>課題の設定</p> <p>整理・分析</p> <p>発表</p>	<p>・吉浦で働く人たちの思いについて、効果的な伝え方や伝える相手、伝える目的について考えている。 (ワークシート、発言)</p> <p>・課題の解決に必要な情報を収集し、整理することができる。 (行動観察、タブレット)</p> <p>・相手や目的に応じて、ICT機器を活用し、分かりやすく表現することができる。 (行動観察、発言)</p>	<p>協働①</p> <p>情報収集・判断力①</p> <p>思考力・表現力③</p>	<p>技術分野 「情報モラル」</p> <p>国語科 「論理的に考える」</p>
10	<p>○評価を受けた内容から、プレゼンの修正・改善を行う。</p> <p>○文化発表会にて他学年にも発表を行う。</p>	<p>整理・分析</p> <p>実行</p>	<p>・他グループのアドバイスを、発表中の話し方と発表の内容に分類し、プレゼンの修正・改善ができていく。 (行動観察、タブレット)</p> <p>・相手や目的に応じて、ICT機器を活用し、分かりやすく表現することができる。 (行動観察、発言)</p>	<p>情報収集・判断力②</p> <p>思考力・表現力③</p>	



10	三 (5)	<p>○吉浦で働く人たちの働く意義をもとに、自分自身が働くときに大切にしたいことを考える。</p> <p>○自分の考えについて、理由を付けてまとめる。</p> <p>○グループ内で発表する。 【本時】</p> <p>○これまでの学習を振り返る。</p>	<p>課題の設定</p> <p>整理・分析 まとめ</p> <p>発表</p> <p>振り返り</p>	<p>・事業所の方が仕事や吉浦に対してどんな思いをもっているのか理解できている。 (ワークシート, 発言)</p> <p>・思考ツールを使い、理由を付けて考えをまとめることができている。 (行動観察, タブレット)</p> <p>・相手が理解しやすいように工夫しながら伝えることができている。 (行動観察, タブレット)</p> <p>・これまでの学習を振り返り、自分の言葉で表現することができている。 (振り返り用紙)</p>	<p>知識・技能③</p> <p>情報収集・判断力③</p> <p>思考力・表現力③</p> <p>思考力・判断力④</p>	<p>国語科 「論理的に考える」</p>
----	----------	--	---	--	--	--------------------------

5 本時について

① 本時の目標

将来自分が働く上で大切にしたいことについて、同級生にわかりやすく伝え、交流することができる。

② 展開 (第28時/全29時間)

	学習内容	指導上の留意点 (●指導上配慮のいる生徒への留意点)	評価規準 (評価方法)
出会う	<p>○前時までの内容を確認する。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>		
	<p>めあて：「将来自分が働く上で大切にしたいこと」について伝え合い、自分の考えを深めることができる。</p>		
考える・深める	<p>○発表の流れについて確認する。</p> <p>○各グループで発表をする。 (グループ)</p> <p>○各グループで代表者を決定し、全体で発表する。</p> <p>○発表会を通して、自分の考えに変容があったか意見を全体で共有する。</p>	<p>○発表の注意点を確認させる。</p> <p>○グループのメンバーの発表を聞き終わったら、質問や感想を伝えさせる。</p> <p>●机間指導を行い、発表者の良かった点に注目して感想を伝えるように声をかける。</p>	<p>○相手が理解しやすいように工夫しながら伝えることができる。</p> <p>【思考力・表現力③】 (行動観察・タブレット)</p>
	<p>～発表のポイント～ 自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、聞いている人の顔や様子を確認しながら発表する。</p>		
		○お互いの発表内容の良かった点や改善点について共有する。	
まとめる	<p>○意見交流をもとに学習を振り返る。</p>		
	<p>～予想される生徒の振り返り例～ ・「将来働く上で大切にしたいこと」の中には、今の自分が実践できることもあるので、学校生活の中で生かしていきたい。</p>		
	○次の学習や次学年のテーマへのつながりを確認する。		

本単元で育成を目指す資質・能力等に係る意識調査

	あてはまる		ややあてはまる	
	学習前	学習後	学習前	学習後
分からないことや知りたいことがある時、誰かに尋ねたり自分で資料や情報を収集したりしている	46.9%	57.1%	42.8%	34.6%
情報収集したことや、自分の考えや気持ちを相手が理解しやすいように工夫しながら、分かりやすく伝えようとしている	38.7%	57.1%	44.8%	32.6%
将来の夢や目標をもっている	61.2%	44.8%	12.2%	32.6%

呉・吉浦を考える学習後に「働くことに関する意識調査」を実施した。事前調査と比較すると「分からないことや知りたいことがある時、誰かに尋ねたり自分で資料や情報を収集したりしている」「情報収集したことや、自分の考えや気持ちを相手が理解しやすいように工夫しながら、分かりやすく伝えようとしている」の項目で「あてはまる」の回答が増加した。また、「将来の夢や目標を持っている」の項目では「あてはまる」の回答は減少したが、肯定的回答は増加した。

【成果】

<知識・技能>

○インタビューを通し、吉浦で働く人たちの「働くことへの思い」や「吉浦への思い」を知ることができた。

<思考力・表現力>

○インタビューで得たことを未来へつなげていくために、生徒が考えて決めた「夢をもっている学生、もっていない学生に、将来の事を考える手がかりや、吉浦で働きたいという魅力を感じてもらうため、吉浦で働く良さや働いている人の思いを伝えよう。」というゴールを設け、同級生や先輩、後輩、小学6年生に向けて発表を行った。吉浦で働く人たちに学び、吉浦の将来や自分の将来についてどのように自分事として考えていくことができるのか、課題意識をもって発表することができた。

【生徒の振り返りより】

・相手に分かりやすく伝えるために、相手の目を見たり、はっきりとした声で発表することを心掛けた。大勢の前で発表するのは緊張したけど、最後までやり遂げることができ達成感があった。

<情報収集・判断力>

○考えを伝えることだけでなく、発表を聞いて、自分と異なる考えを見つけたり、共感したりしたことを互いに質問することで、自分の考えの深まりや変容を感じている生徒も見られた。

○今回の学習を通して、生徒たちが「働く意義」について具体的に自分の考えを説明する姿が見られた。

【生徒の振り返りより】

・班の人の意見を聞いて、自分中心で働くときに大切にしたいことを考えていたけれど、将来は働いている場所、地域のためにという考え方もあることに気付くことができた。私も、将来働くときに、その地域に貢献したり、役に立てる仕事がしたいなど思うことができた。
 ・誰かのために頑張りたいとか、人のためにできる仕事をするだけでなく、自分もやりがいを感じられる仕事に就けたら、自分にとっても相手にとっても良いことが分かった。

<協働>

○発表に向けて、聞き手に分かりやすく伝えるためにはどんな工夫ができるのか班で協力して考え、実行することができた。

【生徒の振り返りより】

・早く将来の仕事を見付けたいと思った。みんなの発表を生かしてこれから生活していきたい。
 ・人と考えは違うから、理解し合ってそれを深めるために質問したりすることを（将来に）生かしていきたい。

【課題】

●「分からないことや知りたいことがある時、誰かに尋ねたり自分で資料や情報を収集したりしている」の項目に肯定的回答をした生徒は91.7%と意識は高いものの、伝える相手を意識して、まとめた事柄を修正・改善したり、分かりやすく表現したりすることが難しい生徒もいる。

→今後も継続して、目的に応じて、情報を収集・整理する活動や相手に分かりやすく表現する活動を意図的・計画的に仕組んでいく必要がある。

●研究授業では、「めあて」と「生徒の振り返り」が一致していなかった。

→「めあて」について、クラスメイト達の発表を通して自分の考えが深まったり、変容したりすることを旨とする内容に変更する必要がある。

●ほとんどの生徒は、クラスメイトの発表方法に注目していた。クラスメイトの発表を通して自分の考えが深まったり、変容したりしている生徒は少数であった。

→自分の考えなどの深まりや変容に気付くことができる「めあて」の設定や「振り返り」が必要である。